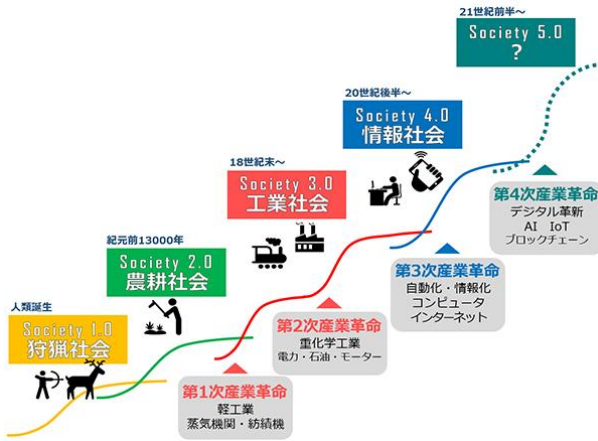


# 学問のすすめ2

R3.12.23\_Thursday\_【心を育む生徒指導通信No.8:通算40号】

作成者・教諭 花園修兵



今年も残すところあとわずかとなりました。皆さんのお手元にこの生徒指導通信が届く頃には2学期の終業式で、冬休みに入るタイミングではないでしょうか。今年1年間を振り返ってどうでしたか？ 来年はどんな年にしたいですか？ 時代に流されるのではなく、時代を掴み、苦難や絶望の中でどう「希望」を見出すか・・・それは前回のテーマであった「学び続ける姿勢」です。今回は前回のテーマの続きです。「**学問のすすめ2**」としました。一読して今年を振り返り、新しい年を迎えてください！



時代はまた新しい年を迎えようとしています。そこで重要なのが「学ぶこと」でした。

その一つが「**ずっと大事にしてきたものでも、時に捨てなければいけないときがある**」ということです。

時代の変化に合わせて、今までのものを捨て去り、また新しいものを得るために「**次へと踏み出す勇気が必要**」になるということです。さて、福沢諭吉はどうであったか。彼は鎖国が続く幕末の時代の中、「学ぶべきはオランダの学問だ」ということで懸命にそれを学びます。ところが開国後に西洋文化が入ってきた時、福沢諭吉は気づきます。「世界の学問の中心はオランダではなく英語だ。アメリカだ」と。福沢諭吉はそこから一転して英語を学び始め、ついにはアメリカに渡って勉強し直すんです。ところが、当時の蘭学者と呼ばれた人たちの多くはオランダに固執し、あらためて学び直すことをしませんでした。その結果、**時代が明治に変わった途端に蘭学者たちは歴史から姿を消すんです**・・・今は変化のサイクルが早い時代です。生きていくためには捨てることはどうしても不可欠な時代だと思います。その備えの一つが「学ぶ」ではないでしょうか。常に学んでいく姿勢を持つことで、時代の変化にも対応することができると思います。



次に、コロナウイルスのような苦難や絶望の中でどう「希望」を見だしていけばよいですか。

中世の時代であればそれは「神様」でした。近代では「科学」です。

では、近年私たちの一番身近ですがっているものは・・・と考えた時、「スマホ」や「AI」ではないでしょうか。

2016年にストックフィッシュというAIがチェスの世界チャンピオンになりました。このAIは人類の全ての指し方を学習させ、機械同士の対戦も全部学習させることで強くなりました。

そして翌年、これを破ってチャンピオンになったのがアルファゼロというAIでした。アルファゼロに教えたのはルールだけで独自に学習させた後は自己対戦を繰り返しながら強くなっていきました。

しかもその学習時間は・・・たったの4時間です。たった4時間で人類が積み上げてきたものを、それまでの歴史を塗り替えてしまったんです。

スマホの翻訳機能もますます精度が上がっています。その完成度があるレベルに達した瞬間から、人間はもう通訳をする必要がなくなるでしょう。イヤホンをつけていれば外国人の話した言葉が勝手に日本語に変換されていくということです。**職業と言うのは時代によって大きく変化します。昔あった職業が、時代の変化によって違う職業に取って代わられるということがこれまで幾度となく繰り返されてきました。**今後、そのサイクルはさらに短くなるでしょう。

生徒の皆さんが就きたいと思っている職業も将来はなくなっているかもしれません。想像もしなかったような職業が現れるかもしれません。そんな先々どうなるか分からない時代の中で、人々はさまざまな苦難や絶望を抱えるわけですが、**そこからどう「希望」を見だしていけるかといえば、そう、「学ぶことをやめないこと」です。**そんな大切なことを福沢諭吉はあの時代に叫び、我々現代人にも語りかけているのではないのでしょうか。さて、来年あなたはその見えないものに備えて何をしますか・・・？

## 穴高 ありがとうの輪 No.15

2A・K.I さんから 2A・H.M さんへ ありがとう。

いつも勉強疲れがたまってきた頃に、面白い話をしてくれます。

いろんな話を聞かせてくれてありがとう！

